



2022年12月19日

株式会社 阿波銀行

元郷塗装工業株式会社の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、元郷塗装工業株式会社（代表取締役 西澤 政芳、本社：埼玉県川口市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	元郷塗装工業株式会社
所在地	埼玉県川口市元郷一丁目 29 番 17 号
代表者	西澤 政芳
業種	金属塗装業
設立	1967 年 9 月 21 日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年12月19日



## 元郷塗装工業株式会社 代表取締役 西澤 政芳

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・社会	基準を超える産業排水を排水しない	工場から排水される排水液をすべて中和し排水環境に配慮したクリーンな産業排水に取組みます。	① 外部委託にて水質調査及び稼働日毎の水質検査を実施		
			② 毎月1回実施		
社会・経済	時間外労働の短縮化と適切な有給休暇の推進	労働時間(1日:8時間)を目指し、効率の良い作業の見直しを行い、プライベートの充実を目指す。適切な有給休暇の取得を目指し、心身ともに健康を目指す。	① 年間5日の有給休暇以外にも休みが取りやすい職場づくり、残業時間の短縮		
			② 2023年1人当たり平均残業時間15時間(2022年比16.7%削減:同年18時間)		
環境	社内で廃棄物の削減や分別を行う	未来の地球環境を守るため、自社で排出する廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。	① ゴミの細分化(缶・ペットボトル・段ボール)を行いリサイクルを行っている業者に依頼または社内で再利用ができる物(段ボール等)は再度使用し、従業員の意識向上		
			② 2023年ゴミ処理費用223千円以内(2022年比10%削減:同年248千円)		
環境・経済	備品・消耗品の環境配慮製品への切替え	環境負荷の小さい原材料の購入や3Rの推進に努めます。	① 備品・消耗品をエコマーク・グリーンマーク・脱炭素製品に切替		
			② 2025年度までに再生100%リサイクルポリ袋(CO2を最大84%削減)へ変更		



### SDGsとは

持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。